

会議録

会議の名称	第3回新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会
開催日時	令和7年2月17日（月）午後7時00分から
開催場所	新城市役所4階会議室
会議の次第	1 委員長あいさつ 2 検討 （1）開催予定日等 （2）アンケート 3 その他
欠席委員	中野委員・河合委員

1 あいさつ

事務局から簡単なあいさつを行い、続いて委員長から開始のあいさつが行われた。

2 検討

(1) 開催予定日等

委員長	それでは、検討1の開催予定日等について、事務局からお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 前回の検討を踏まえて事務局と委員長とで相談をして3案作成した。 ・ 前回の検討では、1回開催と3回開催で意見が分かれたが、興味のない人や家族連れでも参加しやすい形での開催については異論なく共通していたことから土日・大ホール・キッチンカーのお祭りのような開催をベースとした。 ・ 小ホールは、10月は改修工事があるため使えず、大ホールの選択となる。 ・ 台風の場合の予備日については、広報の困難さなどがあるため、4年前と同様に無観客で放送・YouTubeのみの開催を想定した。
委員長	ありがとうございました。 先に1点、パブリックビューイングはどういう予定でしたか。
事務局	設定は可能ですので、実施する場合は会場を探していくということになるかと思います。
委員長	今日は、案の1・2・3の中から、又は別の案で方向性を決めていきたいなと思っております。 御意見いかがでしょうか。
委員	ティーズの放映とYouTubeはどうなりますか。
事務局	ティーズでの生放送とYouTubeでの生配信の予算をとっています。4年前は、再放送が1回ずつされました。
委員	パブリックビューイングは、生中継を見る想定ということですか。
委員長	イメージしているのはその形です。

委員	ティーズの加入率はどのくらいですか。
事務局	少し前に確認しまして、7割と少しと聞いています。
委員	個人的には3回開催が良いのですが、現実的には、現職とそうでない人では知名度に圧倒的な差があると思っています。それを分かったうえで立候補するので言うことはないのですが、その差を埋めるためには回数を増やすことで知名度を上げる機会が多い方が良いと思うので、少なくとも2回開催が良いです。 8年前の開催では、1回目に失敗したなと思った立候補予定者がいましたが、2回目で挽回する機会がありました。そうすると修正能力を、参考になるものとして見ることができます。言い方は良くないですが、1回であればごまかせるけれど、回数が増えるとボロが見えたりすると思いますので、それなりの数は必要だと思います。
委員長	ありがとうございました。開催目的として知名度を上げるためということが適切かは分かりませんが、立候補予定者の考え、人柄などを理解できるようにということは分かります。回数が多いと色々な面が見えるということですね。
委員	4年前に3回参加した方の話を聞きましたが、1回目で何となく分かったけれど、2回目はどうかと聞きに行って、テーマが違ったためじゃあ3回目はどうかと参加したようです。1回開催よりも3会場での3回開催が親切かなと思います。ただ、このキッチンカーには魅力を感じます。
委員	お二人の意見もよく分かりますが、自分が参加する側としたら、1回で十分だと思ってしまいます。あまり興味がない側の意見としては。どのような人が市長になるのか聞いてもらえたらそれで充分だと思います。イベント方式を採ると興味のない人が足を運ぶきっかけになります。立候補予定者はどんなことを言うのかな程度で聞くとと思うので、政策の中身はもちろん気になりますが、本当にその内容に興味を持って来る人がどれだけいるのでしょうか。興味がない人が多い中で来てもらうことを押していくと、会場が違えば距離的には行きやすい行き

	にくいではありますが、それで何人が聞くのかなという感じがしました。 2回程度であれば、昼間いけない場合もあると思いますので、良いのかなと思いますが。何回も行けないなと正直に思います。
委員	前は1回開催が良いと思っていましたが、2回でも良いかなと思いました。1回に絞って注目を集中させる方法も良いかと思いましたが、興味のあるテーマのときだけにでも来てもらえれば、目標は達成できると思いますので、市民にとって意味のある討論会になると思っています。
委員	3案の中では、第1案が良いと思います。今回は実験的な形でキッチンカーを呼びたいという気持ちはあって、この形でどのくらいの来場があるのかということが、未来の討論会の開催の参考になると思います。 時間が合わない人がいますので、ニーズに応えられるように土日と平日に開催する方が良いと思います。
委員	自分としても第1案が良いと思います。どれも魅力的ですので悩んでいましたが、未来の討論会への実験的な意味でも良いのかなと思いました。
委員長	それぞれご意見いただきました。回数については1回より2回かなと、今日はテーマは扱いませんが2回開催のときはテーマを変えてという側面が見えているかなと思います。1回でも来てほしいということでは、開催のタイミングとしては平日の夜と土日での第1案に傾いていると思います。 私自身もなるべく多くの人に関心を持って参加する状態を維持したいですので、来やすいように時間を変えて2つ用意することは良いなと思っています。 この方向で良さそうであれば、どちらを先とするかの方向性は決めておきたいと思います。 自分としては、土日のキッチンカーはイベントっぽいですので、先出しして平日夜が盛り下がることが懸念されますので、土日を後が良

	いかと思っています。 いかがでしょうか。
委員	討論会をあまり知らない人がいるのであれば、先に土日を開催して平日夜にもありますよとすることもありかなと思います。
委員長	その方が2回とも来る確率は上がると思います。
委員	キッチンカーを呼んでの討論会は、会場への出入りが頻繁にある感じですか。
委員長	東栄町での開催ではそんなに出入りはありませんでした。 終了後にキッチンカーで昼食を買ってその場で食べながら話ができる時間が作れること、それがキッチンカーの魅力だと思って、土日の開催の時間帯を午前中の案としました。もちろん来やすさも魅力としてありますが。 感覚ですが、途中でキッチンカーに行つてという人はあまりいませんでした。キッチンカーにもそれを伝えたいうえで準備をしてもらえば良いので。
委員	そうするとキッチンカーがあるから来る人はいるのかなと思いました。
委員	キッチンカーも多く来てもらう必要がありますね。
委員長	5・6台は来てほしいですね。
委員	終了後にキッチンカーで参加者が食べている間は、候補者はどうしていますか。
委員長	東栄町のときは、午前が町長・午後が町議で、町議の方は観客として町長の方の討論会を聞いていました。その後昼食を食べて出演しているので、町議の人とはコミュニケーションをとろうと思えばできたと思います。町長候補は終了後に帰っていきました。運営側から候補者側に特に指定をするようなことはしていません。討論会の外での話になりますのでどこまでお願いできるのかは分かりませんが。
委員	昼食を一緒に食べて雑談をするようなことがプラスなのかマイナスは分かりませんが。

委員長	それはその人次第ですね。
委員	最近の新城市のイベントで、大ホールで開催したときに作手や鳳来の方は抵抗なく来ているのでしょうか。
事務局	自分の感想ですが、場所を分散して複数回開催するイベントはほぼありませんので、会場が決まったら興味のある人はそこに来ざるを得ないかなと思います。
事務局	地域意見交換会では、道が違うだけで抵抗はないという人が結構いましたので、鳳来地区ではそうでもないかと思いますが、作手は下まで降りるイメージがあるかなとは思いますが。
委員長	この場で決めきらなくても良いので、第1案を推す方向で、アンケートの話もありますのでこの話は終わりましょう。日程は大ホールの空き状況にもよりますし、PRの方法も考えてカバーすれば良いですし。

(2) アンケート

委員長	続きまして検討の2アンケートについて話し合いたいと思います。 事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 事前に意見のあった内容を参考に、回答に抵抗がないような体裁を意識して作成をした。 ・ 氏名の欄は削った。 ・ 前回の検討と事前の意見で出ていた会場での観覧をしたくない層への項目を入れた。 ・ テーマ選択の表現については、保留している。 ・ 市の課題と強みの両面からの記述欄を設けた。また、立候補予定者に聞いてみたい質問を含めた自由記述欄を4年前と同様に設けた。 ・ 回答のしやすさが今回のコンセプトにあるため、両面1枚で収まる質問数とした。

委員長	ありがとうございました。 今回おおむね決める形で、もう一度検討の機会がありますか。
事務局	そうですね。次回まで可能です。
委員長	次回開催時に検討できますが、とはいえ今日おおむね固まると思います。 各項目や全体についてご意見いただければと思います。
委員	ほのかの記事のQRコードからアンケートフォームにアクセスすると思いますが、文字数の制限はどのくらいですか。手書きよりもQRコードからの方が早いので確認として。
委員長	案内文にQRコードがあれば、自分ならスマホから回答しますね。
委員	書くより入力する方が良いついていう人は多いかもしれないですね。
委員長	回答数を上げるにはそうですね。
委員	これであれば、家族も回答できますね。
委員長	そうですね。
委員	アンケートの送付はどういう方法でしたか。
事務局	紙媒体の方は無作為抽出で500人の予算となっています。 併せて、無作為抽出についてですが、完全なランダムではなく世代ごとの人口比率に応じて送付する人数を調整してはという意見もありましたので、それについても検討していただければと思います。 ちなみに、LOGOフォームの文字数ですが、1項目当たり6万文字入力できるようです。
委員長	多すぎるので、可能であれば反対に文字数を制限した方が良くも しれないですね
委員	案内文の方にスペースがありますので、若い人はQRコードを載せてどちらからの回答でも良いですとする方が良いと思います。
事務局	載せるようにしようと思います。
委員	討論会の会場で観覧したいですか、が問2であります、これに いえを回答した人が次に進むのか悩みました。もういいやとならない のかなと。問6・問7の課題と強みを前に持ってきて興味のあること

	を聞いてみる方法もあるのではと思いました。
委員長	そうすると、表面を討論会に関することではなくて市に関することとして、討論会の関連を裏面にするイメージになりますね。 別の面からの見方ですが、自分がアンケートを作るときに気を付けていることですが、前の方に記述を入れないようにしています。最初に記述を入れると面倒に感じてしまうため、最初を簡単な選択にして途中まで書いてもらうことで、最後まで書き切ろうと思ってもらうように、そうなるタイミングで記述を入れるようにしています。 どちらも善し悪しあると思います。考え方次第ですね。
委員	すごく良くわかります。課題をチェックにするのもありかなと思います。それから具体的なものがあればお書きくださいという形ですね。その方式を採ると。
委員長	そうですね。その方法であれば書かないで済む選択が採れますね。
委員	最後まで目を通してほしいですね。
委員	今の意見で、意見として出てきたアンケート方式（項目ごとに関心度を記載する方式）はだめですか。
委員長	良いと思います。若干項目を少なくしないといけないですが。
委員	これであればテーマの参考になりますし。
委員長	あとは、討論会に来ない方の意見を拾える質問が少ないので、そこをどう入れるかですかね。
委員	まずは回答をしてもらって裏面で来るか来ないかということですよね。
委員	ここまで聞いておいてから会場で聞きたいですかという問いにして、このテーマだったら行きたいと思う人もいるでしょうし、忙しくて無理という人もいるでしょうし。
委員	このアンケートは、テーマを決めるために行うのですよね。
事務局	4年前はテーマ決めのためにアンケートをしました。今後決定していくもので、データとしてほしいもので、少なくともテーマ決め関連は入れたいと思いますが。後はどのようにしていきたいかですが。

委員	何も関心のない人ではなくて、それなりに関心がある人しか答えられないように思います。討論会では立候補予定者の人柄やビジョンが分かりますよとありますが、人間は、理性ではなくて直感で判断すること多いと思います。アンケートに答える人がどういうメンタルかを知りたいと思います。これが役に立つのかは分かりませんが。 自分としては、市長に必要な資質は何だと思えますかを聞いて、これに答える人は市長に要求されるものが暗に分かるようになります。人柄を分かるようになるためのヒントとしてこのような質問が必要かなと思いました。モチベーションを上げるための方法論も必要かなと。
委員長	どうアンケートに反映させるかはありますが。1つ思ったことは、関心がある人とない人でテーマなどに差が出てきそうな気はします。クロス分析する上で政治の関心の有無を入れることで、関心がない人に来てもらうにはどういうテーマが必要かと検討できると思いますので、その項目は足した方がいいかなと思いました。
委員	人柄が分かるにはどういう方法があるんですかね。具体的な方法論として。
委員長	個別には色々あると思いますが、例えば予期せぬ質問が分かりやすいとは思いますが、討論会は公平公正や選挙活動にならないようにと制約が多いので、その場で質問を募るのは生放送ですから危ないところもあります。そういうコンテンツを用意の方が人柄は見えやすいのかなと思います。ほかには、他己紹介ですが準備させると意味がないので不意打ちとする必要がありますが。 手法としては有効ですが、立候補予定者としてはどうですかね。
事務局	4年前は、自己紹介の中に、こちらから指定するテーマを1つ入れて話をしてもらう形式で人柄の断片が見えるようにしました。注目しているオリンピックの種目も入れてくださいのような形です。前は開始時の自己紹介のみでしたので、休憩をはさむごとに質問を1つずつ入れるようなことも、例としてはありえます。
委員	8年前は、質問を3つ用意して会場で拍手の大きさに質問を決める

	ようなことをしました。話がずれて具体的な方法の話になりましたが、方法論として。
委員長	今思い出しましたが、一方で、その検討のころには推薦委員が入っていますので、今日この話で盛り上がってもその中でどのようにまとまっていくかは分からないところですね。 では、アンケートの話に戻りたいと思います。 ここまでの意見としては、政治への関心の有無、始めに会場での観覧の是非を入れるとそこで離脱してしまわないか、表面を市に関連するもの、裏面を討論会に関するものとする意見、あとはQRコードを足してどちらの媒体でも回答をしやすいようにしてはどうかというものがありました。 ほかにはいかがでしょうか。
委員	3つありまして、自由記述は少なめが良いと思います。空欄がたくさんあると答えたくなくなります。参加意欲のあるものであれば埋めるくらい書きますが、そうでないものはチェックが良いです。 あとは、デザインと字体についてですが、アンケートのお願いの部分のフォントが見にくいです。目の良くない人もいますし。アンケートのデザインと文字が重なっている部分がありますので、重ならない方が良いと思いました。討論会の説明は箇条書きの方が分かりやすいと思います。
委員長	ちなみに自由記述はいくつくらいが良いですか。
委員	最大で2つまでです。
委員長	皆さんは数としては最大いくつですか。
委員	3つです。
委員	興味がない人のことを考えないといけないので、少なければ少ない方がよいですね。各個人の生の思いを聞きたいので1つは残したいですが。
委員	最後の自由記述だけあれば良いと思います。ほかのところにはその他と括弧を付けておけば書きたい人はそこに書くようにして、最後に

	自由記述で聞きたいこと、言いたいことを書いてください、が1つあれば良いのではと思いました。
委員	書く欄をもっと細くしたらごまかせないですかね。
委員長	文章ではなく単語を書いてもらうような回答ということですか。後ろに任意で書けるようにするとかもできますね。
委員	案内文とアンケートの2枚セットですよね。なぜ柄が違うのですか。関連性が全然ない感じがしたので。
事務局	特に理由はありません。デザインを探して選んだだけですので。
委員	アンケートは白黒ですか。
事務局	白黒で考えていましたが、カラーでもいけます。今日は白黒の案をお渡ししていますが。
委員	まあ、カラーは求めていないですが。QRコードがあればそっちで回答しますし。 アンケートのお願いが2か所ありますし、討論会の説明が案内文とアンケートの両方にありますので、削れると思います。アンケートのご協力ありがとうございました、の次に秋に開催される討論会にぜひご参加くださいの文字がほしいかなと思います。
事務局	討論会の説明を両方に入れた意図ですが、文字が多い案内文の方は読まない人も多いだろうなという想定で入れました。ですが、なくても良いです。
委員	4年前のアンケートの絵を入れても良いかなと、柔らかくなるかなと思います。一部不要な部分もありますが。
委員	説明は、箇条書きか絵が良いかなと思います。
委員長	仕事していてと思いますが、文字は読んでもらえないと身に染みて感じています。
委員	4年前の自由記述はどのくらい記載がありましたか。
事務局	思ったより多かったなというイメージです。
委員	回答自体はいくつくらいですか。
事務局	全体で120、130くらいです。

委員	案内文にイラストを載せてQRコードを載せるだけでかなり違いますね。 ぜひご家族で回答ください、みたいなものを載せるのはだめですか。自分だけが答えるアンケートと思うか色々な人に答えてもらって良いアンケートと思うかで違うと思います。波及していく方が回答数が集まりそうですので、友人にもぜひご協力をお願いしますなど強引ですが、ありかなと思います。
事務局	QRコードを載せますので、ご家族もQRコードから回答をお願いしますと書くことはいけるかなと思います。
事務局	SNSでの広報はする予定でしたか。
事務局	広報の方法としては、ほのかと公式LINEとティーズのテロップの準備を進めています。
委員長	少しまとめると、1枚目に関しては文字を減らして、見やすい字で、箇条書きで、QRコードを入れて家族も回答をしてほしい旨を入れるところですかね。 2枚目に関しては、記述が多い印象を与えないようにということです。 選択の問5の項目は多い感じがしますね。分野としてはある程度網羅していると思いますが、福祉の単語がないことは気になります。足すと項目が増えてしまいますし、医療・福祉にして健康を外に出すくらいかなと思いますが悩ましいですね。
委員	自分としては、見ない理由を聞きたいと思っています。これは割と深刻な問題だと思います。
委員長	現在の案としては、会場での観覧に焦点を当てていますが、ケーブルテレビやユーチューブで見ることも含めた質問ということですね。 個人的には、会場ではなく各媒体を含めた視聴に焦点を当てて聞きたいと思います。最終的には会場に来た人数が指標になってしまうかもしれませんが、本来的には、ユーチューブでの視聴でも良いです。
委員	サブタイトルは変えても良いと思います。

	個人的には全てのテーマについて聞きたいのですが、テーマなしというのもありかなと思っています。人柄に焦点を当てたテーマなしでの話も見たいです。テーマなしの選択を入れても良いかなと思いました。 問の6, 7, 8は、自由記述でまとめても良さそうです。
委員長	テーマ項目の中に人柄・人となりを入れるイメージですかね。 条例では、政策・方策の理解を深めることが目的とされているため、この原則に含まれるもののできるのかは考える必要があります。
委員	アンケート結果に縛られずに話をしてほしいというのがあります。
委員長	アンケートの結果は今後の検討の資料で、縛られるものではありません。2回の開催の中でどのように構成するかは今後検討していくことですね。
委員長	色々意見が出ましたが、事務局として修正案をこれから作ることにしますが、どうですか。
事務局	自由記述欄は削る方向ですが、選択項目での質問はどうでしょうか。これまでの話としては、政治への関心の有無がありました。 会場での観覧の項目にしていますが、広く視聴の是非の項目にして裏面にもっていくようなイメージはしています。
委員長	意見として出てきた案の内容にする形でカバーできると思います。
事務局	この項目であれば、スペース的にはまだ入れられそうですが聞きたい項目としてはほかにはどうでしょうか。
委員	選択として入れるのであれば、先ほど話に出た市長に必要な資質はどうですか。不要ですか。
委員長	いるとは思いますが、これは項目として書いて良いのですかね。項目が本当に難しいです。何を書いても批判はあると思います。
事務局	質問する側として項目選択が難しすぎるというのはあります。個人的には、内容的に討論会の先の選挙段階での質問かなと思っています。アンケートの結果が出たときにどういうふうに討論会の内容に落とし込むのか考える必要はあります。

委員	アンケート結果はこうになりましたがどう思いますか、で良いのでは。
事務局	それは討論会の場でということですか。 テーマは立候補予定者が提案できますし、それを尊重する必要があります。テーマ決めの際の参考にするアンケートですよ。
事務局	それもアンケートの目的の1つです。4年前は時間がなくてテーマ決めに絞ってアンケートをしましたが、今回は時間がありますので、今後、実行委員会で検討していくために必要な材料を集められますので、テーマだけではなくて他の検討をしていく上でほしい情報も集めることができます。
委員	立候補予定者はテーマを提案できるので、テーマ決めの材料を集めても使われない可能性があるわけですね。もったいない感じがします。
委員長	全てが言いなりというものではありませんし、シナリオや構成への反映もあり得ます。そういうときのバックボーンとしては色々あった方が良いでしょう。
事務局	テーマ決めの際にアンケート結果を参考にすることができます。
委員	資質は聞かなくても良いと思います。数字を出したとして、次にどうつなげるかは課題だと思います。 紙のアンケートは500人で、そのうち100人が答えてくれるとして、その数字が出ても次へのつなげ方やグレーゾーンの質問になるのであれば挑戦しても意味がないのかなと思います。
委員長	それでは話をしめようと思いますが、自由記述で出てくるかもしれませんね。出てくるのであれば、現職への不満になるのかなと思いますが、何らかの形で入れることは可能とは思いますが、アンケート項目としては、そういった部分から拾っていけるのではと思います。 本日の議論を終了します。

3 その他

次回の日程

3月5日（水）午後7時から